

科 目	英 語
出題意図 全体	高等学校までで学習する英語の語彙、文法、談話構成に関する知識を運用して、テキストを理解する能力を測定することを目的としています。主要なメッセージ、正確な情報を理解する能力、語彙・文法知識を運用する能力、理解したことをもとに類推する能力を問う構成となっています。
出題意図 1	1,000語前後で10段落程度からなる完結した英語の文章を読む問題です。問1は、各段落の主題や重要な情報を理解できたかを問う問題です。問2は、文章で示されたさまざまな見方や情報のまとめを表で示し、メッセージの流れや論理構成を含めて、その理解を問う問題です。問3は、文章中の細部にわたる情報の理解を問う問題です。全体を通して、①主要情報の理解、②細部の理解、③論理構成の理解に関する読解力を問う構成となっています。
出題意図 2	定評のある語彙使用頻度リストを参考にして、使用頻度の高い語彙の中から、基本的な語からやや難易度の高い語まで段階的に抽出して問題を作成しています。基本的な語彙知識を問うことがねらいです。与えられたダイアログの中でふさわしい単語を選ぶという形式にしています。コミュニケーションの中で単語の知識を活かすことができるかを問います。どの単語もふさわしい文脈の中で選ばれ使われるからです。
出題意図 3	英語における基本的な文法知識を問う問題です。会話の形式で空所が示され、会話の状況からふさわしい表現を選びます。この問題では、高等学校までに学習する文法の運用知識を問うことをねらいとしています。
出題意図 4	話し言葉のコミュニケーション能力を測る問題です。会話の展開を示す表現に着目しながら、会話の状況や話者の意図を理解し、一貫した内容を把握する論理的思考能力を問います。
出題意図 5	空所補充を通じて短いエッセイを完成させる問題です。英文をパラグラフの観点から理解できるかを問うとともに、受験者の論理的な読解力、文脈把握力、英文構成力を総合的に測定します。具体的には冒頭文と結論文を手がかりに、その焦点を正しく捉え、文同士の関係を理解し、適切な論理展開を選択する力が必要になります。

科 目	英 語
出題意図 6	さまざまなジャンルの短めの文章について，特定の情報を読み取る，読み取った内容に基づいて情報を整理する能力を問う問題です。文章の内容について，限られた時間であっても正確に理解する読解力を問います。

科 目	世界史
出題意図 全体	<p>高校教科書の内容を確実にマスターし、世界各地域の大きな歴史の流れを理解しているか否かを問うものです。</p>
出題意図 1	<p>近年、埼玉県川口市のクルド人問題など、イスラーム系移民と日本人の文化的軋轢が頻発し社会問題となっています。多文化共生の観点から、イスラームへの理解を深めることは必須です。本問では、その観点からイスラームについての基礎的な理解を測りました。</p>
出題意図 2	<p>いくつかのヨーロッパ諸国が台頭する中で、16世紀から17世紀に至るイギリスを舞台にして、キリスト教と政治がいかなる関係にあったかを問う問題です。1640年代の革命を理解するためには、その前後のキリスト教や政治の動きも視野に入れる必要があることが考慮されています。</p>
出題意図 3	<p>2022年2月にロシアがウクライナに侵攻し欧米諸国から制裁を受けましたが、中国がロシアを支援して現在も戦争は続いています。露中関係は現在こそ良好ですが、ロシアのアムール川周辺、沿海州領有は、中国では「北方領土」問題として燻っています。この経緯への理解を測りました。</p>
出題意図 4	<p>19世紀末から第二次大戦を経て冷戦に至るアメリカ外交に関する問題です。建国以来、外交的孤立主義から抜け出し、ウィルソンやフランクリン・ローズヴェルトといった歴代大統領の下で、国際秩序形成の担い手になっていく過程を確実に把握しているのか否か測ることがこの問題の狙いです。</p>

科 目	地 理
出題意図 1	世界の自然環境に関する問題です。地形や気候の内容でよく登場する地形名や気候帯を、地図で場所を確認しながら学習するようにしましょう。
出題意図 2	出題者の退職・転出等の理由により公表不可
出題意図 3	都市と居住に関する基本的な問題です。都市の機能と就業，居住などの生活環境について，都市構造の観点から快適で安全に過ごすためのシステムについて考える問題です。日頃から私たちの暮らしについて，いろいろな都市を比較し，その違いに関心を持ちましょう。
出題意図 4	熊本県の人吉・球磨地域に関する地誌を中心とした問題で、地形・気候の特徴とそれによる地域産業、交通に関する設問があります。データの読解では、少子化というイメージに惑わされずにしっかりと文章を読み、データにどのように反映されているかを理解することが求められます。

科 目	政治・経済
出題意図 1	出題者の退出・転出等の理由により公表不可
出題意図 2	<p>国史の力学に埋没してきた先住民を主題化しました。世界の先住民問題や国連の動きから、アイヌに対する同化政策の歴史を問うものまで、やや射程を広くとった内容となりました。基本的には「政治経済」の教科書レベルの基礎的な内容を問う構成としつつ、北海道の大学入試であることを意識し、萱野茂やウポポイに関する設問も設けました。</p>
出題意図 3	<p>国際政治の軍縮が主題です。問題文に書かれていた軍縮条約の対象兵器の分類や条約成立に寄与したNGOの役割などについては初めて知る受験生もいたかもしれませんが、軍縮条約は多くの教科書で年表とともに成立経緯がまとめられているため、そこから各条約の特徴を整理して理解していれば、おのずと正答を導き出せるような設問になっています。それに加え、「国際法の父」と呼ばれる法学者およびその代表作の正しい組み合わせを選ぶ問1 (b) など、軍縮条約という国際法につながっていく歴史的な政治原理についても出題しました。単元ごとの知識の習得はもとより、政治分野の複数の単元をまんべんなく横断的に理解しているかが問われました。</p>

科 目	国 語
出題意図	出題者の退出・転出等の理由により公表不可